鉄路

第１３号



茨城県立土浦第一高等学校　鉄道研究部

一高の車窓から Part 1



「北の大地、あの日の記憶。」

撮影: 関鉄ファン

雪に埋もれた看板と、発車を待つキハ 54 の銀色の影。増毛へと続いた記憶を背負い、力強く雪を蹴立てる。路が終わっても、あの日車窓から見上げた北国の誇りは、僕らの心という線路を走り続ける。



「未来の景色へ」

撮影: 清野陽太

西武池袋駅で発車を待つ 001 系 Laview。あたりは通勤ラッシュで騒がしいなか、ここだけ優雅な時間が流れる。
Laview は 2019 年にデビューした車両で大きな窓と丸みを帯びたフロント、黄色い座席が特徴である。

一高の車窓から Part 2



「歴史の転換点」

撮影: 城戸康太

キハ 110 快速はまゆり。元々急行列車として運転されていたが、今は快速列車となっている。歴史の深い列車だが、この春車両が新しくなり、指定席の連結はなくなってしまった。



「夢が途絶えた鉄路の先で」

撮影: 中根琉成

JR 久留里線の終着、上総亀山駅。房総半島横断の夢が途絶えた鉄路の先には、静寂な時が流れます。2027 年春の区間廃止を前に、今こそ訪れたい場所。行き止まりの線路が描く、旅情あふれる最後の景色をその目に。

一高の車窓から Part 3



「裏方の輝き」

撮影: 宮ウラ

土浦が最も混雑する花火大会の日は、関東鉄道バスの土浦、下妻、竜ヶ崎、つくば中央、守谷、水戸の各営業所や JR バスの車両が関鉄ご自慢の電気バス含め計 44 台が総動員されました。夜はライトと行先表示が綺麗で良いです。



「疾走するのぞみ」

撮影: 有賀洋登

兵庫県大津トンネル付近で撮影。N700S 系 H7 編成。

今年 3 月から運用を開始した比較的新しい車両だった。

iso1250 347mm 0ev f14 1/4000

一高の車窓から Part 4



「あをによし　奈良の都は　咲く花の　にほふがごとく　今盛りなり」

撮影: タカシ

観光列車あをによしと平城京の一枚。上の歌は万葉集にある平城京を歌ったものです。



「終活」

撮影: Zen2 おじさん

JR 氷見線 キハ 40 系 越中国分駅~雨晴駅間 雨晴海岸沿いにて撮影。氷見線は 2029 年頃までに新型車両の導入とあいの風とやま鉄道への移管が予定されている。 この光景も間もなく見納めだ。

編集後記

鉄路 13 号を御覧いただきましてありがとうございます。編集者です。

今年度は積極的な(?)勧誘の成果もあってか、なんと新しく 6 人もの新 1 年生が入部し、昨年度途中に加入した 2 年生 1 人も合わせて合計 13 人もの大所帯（当社比）となりました。3 年ぶりに高入生の入部もあり、寸前で鉄研オール内進生化を免れたことも我々上級生にとっては地味に大きな事だったりします。（なお、今年度も女子生徒の入部はなかった。）

部員が増え編集量が増加したことに加え、昨年から印刷の外部委託を行うようになったため締め切り期日が早くなり、直前まで夜な夜な作業を行う大変なスケジュールでしたが、こうしてひとまず冊子を配布することができて安堵しております。

鉄路 13 号も電子版限定だった 12.5 号に続いて、ホームページで電子版を公開しております（多分。この編集後記を書いている時点ではまだ手つかずだが、未来の自分がなんとかしてくれているだろう）。記事数も多く一部記事は増量されているので、そちらも訪れていただけると幸いです。

話が変わりますが、昨今、学生が鉄道に触れる、鉄道を使って旅行するという機会は減少しているのではないでしょうか。地方ローカル線の廃止はもちろん、青春 18 きっぷのダウングレードや往復乗車券割引の廃止、航空会社の若者向けプランや LCC の台頭、インターネットの普及による外出・遠出の減少といった様々な逆風が吹いているのは誰の目にも明らかでしょう。また、迷惑撮り鉄に代表されるような過激な鉄道趣味者の悪行がインターネットを通じて広まり、鉄道趣味に対する世間からのイメージが悪化しているという印象も受けます。

しかし、それでも鉄道には離れがたい魅力があると思っています。そして、より多くの人にその魅力を知ってもらい、鉄道を楽しむ仲間が増えてほしいと思っています。そんな気持ちが、部員一同精一杯製作した本誌を通して一人でも多くの人に伝わり、共に鉄道を楽しむ仲間が一人でも増えてくれれば幸いです。特に、鉄道に興味を持っている一高生がさらに入部してくれることを願っています。

以上を編集後記とさせていただきます。ここまでご精読いただきありがとうございました。またのご来場をお待ちしております。



2014 年、「鉄路」は鉄道研究部の再出発を踏まえて、号数を再スタートしました。

表紙写真

「圧巻」

撮影：鷹好きの阿見町民

これは真岡鐵道を走る「SL もおか」　だ。牽引するのは、昭和初期に製造された C12 形 66 号機。力強い蒸気と汽笛を上げ、栃木ののどかな田園風景の中を駆け抜ける姿は圧巻の一言である。

裏表紙写真

「大鰐温泉、午後 1 時」

撮影：ラムネちゃん

2 月末の、青森県は大鰐温泉の様子。JR 奥羽本線と、まもなく路線休止となってしまう弘南鉄道大鰐線が乗り入れています。まだ雪深い青森には大鰐線の姿を一目見ようと多くの鉄道ファンが。

鉄路　第１３号

２０２６年５月３０日発行

発行者：茨城県立土浦第一高等学校鉄道研究部

転載・転売・複製禁止

©2026 茨城県立土浦第一高等学校鉄道研究部